

2012年1月20日

阪神電気鉄道株式会社
神戸高速鉄道株式会社

阪神三宮駅に東改札口を新設 ～3月20日(火・祝)供用開始～

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市福島区、社長:藤原崇起)と神戸高速鉄道株式会社(本社:神戸市中央区、社長:嶋井敬司)では、国・兵庫県及び神戸市の補助を得て、三宮駅における駅施設の利用円滑化と交通結節機能の高度化を図るため、2007年度から、大規模な改良工事を行ってまいりましたが、この度、同駅東改札口の新設工事が完了する運びとなりましたので、3月20日(火・祝)から同改札口の供用を開始します。

東改札内には上下線各ホーム(地下2階)とコンコース(地下1階)を結ぶエレベーター2基(上下線各1基)を新設してバリアフリー化を図ると共に、各ホームを結ぶ昇り・降り両方向のエスカレーターを新設し、お客様の利便性向上を図ります。

また、一体での整備を進めている神戸市の南北地下通路(三宮駅前東地下線:東改札口と同日に供用開始予定)に接続するため、JRやポートライナーとの乗換えが便利になるとともに、周辺地下街とも繋がり、三宮の新たな玄関口が形成されることにより、三宮東地区の活性化に寄与するものと考えています。

なお、同駅改良工事におきましては、今後、既存の西改札口前通路を拡幅し、乗り継ぎや回遊動線の強化を図るとともに、ホームとコンコースを結ぶエレベーターを新設して西改札内のバリアフリー化を図ります。

また、現在の2番線(本線下り線:姫路方面)を折返し線に、3番線(折返し線)を本線下り線に変更し、本線と三宮始発の快速急行(三宮～奈良)の乗継ぎ円滑化を図ります。

これらのすべての工事が完成するのは2013年春の予定です。

【東改札口 完成イメージ】



以上

